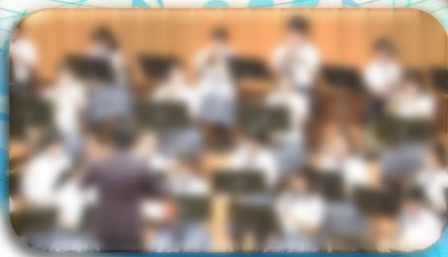


# 部活動などの表彰

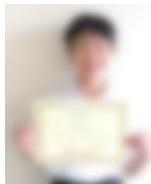
## 《吹奏楽部》

第62回東京都中学校吹奏楽コンクール B組 銅賞



## 《実用数学技能検定》

準2級  
3級  
4級  
5級



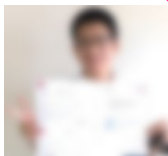
6級

本校に水泳部はありませんが、校外のクラブチームや各種コンテストなどで活躍する生徒もいます。

第70回東京都中学校学年別水泳競技大会  
3年男子50mバタフライ 第5位  
〇〇〇〇さん (3-3)

## 《実用英語技能検定》

準2級  
3級



4級

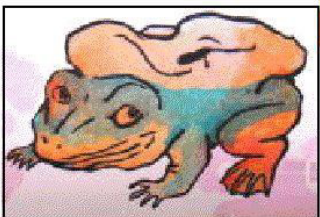
5級

## 南千住マスターのコーナー

二つ目は『戻れずの狐』。中通りにある神社のお稲荷さんは、時折連れ立って浅草あたりに遊びに出かけていたといわれています。そんなある日、帰ってこようとしたら、お社の近くに犬某(いぬのな)がしという名前の魚屋さんができていました。犬が苦手なお稲荷さんは社に戻れなくなりました。南千住の路地を歩いていて、曲がり角の向こうに何かがいそうな気がした時は近くでこのお稲荷さん(狐)がさまよっているのかもしれない。



妖怪南千住にはこれまでに紹介したように、いろいろな伝承があり、妖怪が潜んでいます。それだけでなく、南千住に新しい妖怪が発見されて(誕生して)います。新たに誕生したと言っても、実は古くから伝わっていることをもとに調査して、発見されたと言っても良いでしょう。その一つが『フクミミガエル』です。三ノ輪にあった老舗銭湯「弁天湯」は、営業をやめ、2012年に解体されました。この弁天湯ができる前には、そこに弁天池という池がありました。池の中央の小島には弁天様が祀られており、夜な夜な琵琶の音が風に乗って聞こえてきたといわれています。池に棲んでいた蛙は、その音色に聞き耳を立てていました。池も弁天湯もなくなつた今でも、時折その蛙が地中から顔をのぞかせるそうです。



すみだ川妖怪絵巻 その5  
『フクミミガエル』  
『戻れずの狐』  
新じり妖怪たち

協力：  
NPO法人  
千住すみだ川



学校だより  
令和四年9月  
第129号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

## 心に太陽を、くちびるに歌を

校長 松田 公好

心に太陽を持って。  
あらしがふこうと、ふぶきがこようと、天には黒くも、地には争いが絶えなかりと、いつも、心に太陽を持って。  
くちびるに歌を持って、軽く、ほがらかに。  
自分のつとめ、自分のくらしに、よしや苦勞が絶えなかりと、いつも、くちびるに歌を持って。  
苦しんでいる人、なやんでいる人には、こう、はげましてやろう。  
「勇気を失うな。くちびるに歌を持って。心に太陽を持って。」

1989年に、児童文学者の山本有三さんが紹介した、ドイツの詩人・ツェーザル・フライシュレンの詩で、心に勇気や元気を与えてくれる私の大好きな詩です。

コロナ禍となって3年になろうとしています。知らず知らずのうちに私たちの心は疲弊し、気持ちが沈みがちになることが多い気がします。現にコロナ禍の影響で、若い世代に自死を選ぶ人が増加したとも言われています。こんな時だからこそ、この詩のように「心に太陽を」「くちびるに歌を」持つことが大切なのではないのでしょうか。

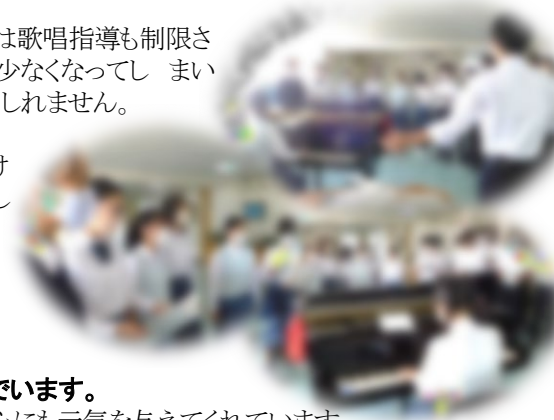
着任以来ずっと呼びかけ続けている「笑顔を意識すること」は「心に太陽を持つこと」につながると考えます。希望の光を見失わず、勇気をもって前に進む力を身に付けるために笑顔でいることが役に立つと思うのです。自分が笑顔でいることで、周りの人の心は太陽を持ちやすくなると思います。

2学期も引き続き「笑顔」を心掛けて心を元気にしましょう。

また、コロナ禍ではマスクの着用が求められ、学校では歌唱指導も制限されてしまったため、「くちびるに歌を持つ」機会が極端に少なくなりました。これもいつの間にか心が疲弊してしまう一因かもしれません。

でも、「くちびるに歌を持つ」ことは禁止されているわけではありません。飛沫を飛ばして周りの人を感染させてしまうリスクを避ければよいわけですから、その気になればそんな機会はたくさんつくれます。心に元気を取り戻すために積極的にくちびるに歌を持ってください。軽くほがらかに。

現在霜月祭に向けて3年生が学年合唱に取り組んでいます。毎日元気な歌声が校舎内に響き渡っていて、聞く人の心にも元気を与えています。早くマスクなしで気持ちよく「くちびるに歌を持つ」ことができる世の中になってほしいものです。



## 道徳授業地区公開講座

9月10日(土)に、「道徳授業地区公開講座」が2年ぶりに教室の外からではありませんが、保護者や学校評議員の皆さんにご参観いただき、実施されました。

1学年は、「いじめのない世界へ」をテーマに、いじめに当たる行為とそう思う理由について考えることを通して、人それぞれの見方や考え方があることを理解し、お互いの立場や個性を尊重しようとする態度を育てることを目標に授業を行いました。教室内での行動を描いたイラストを提示して、いじめだと思う行動に○をつける活動では、まず個人で考え、その後グループに分かれてそれぞれの意見を聞き、多様な考えがあることを確認しました。発表の場面では、いじめとは「人が嫌がることをすること」「誰かがつらい思いをすること」など様々な意見が出され、いじめにつながる行動を自分のこととして捉え考えました。後半には、翌週実施される清里移動教室で全員が安心して楽しく過ごせるように、清里で起こりうる出来事について考え、発表しました。学校生活はもちろん、初めての宿泊行事「清里」に向けて、あらためて友人関係を考え、互いに尊重する態度を育みました。



2学年は、資料「祭りの夜」を使い、「郷土を愛する態度」をテーマに、自分が住む地域の文化や伝統の良さに気づき、郷土に対する認識を深め、自らその発展に努めようとする心を養うことを目標に、資料から「郷土・ふるさと」の作者の心を考え、主体的に地域に関わろうとする作者に共感し、自分が郷土とどう関わっていくか考える機会を育みました。「自分の地域・南千住の誇れるものは何か」という質問に、多くの生徒が手を挙げて、天王祭、円通寺や公春院などの神社・仏閣、商店街の名物など南千住のいいところがたくさん上がりました。最後にワークシートで、地域のことを知る、郷土のために自分ができること、地域と人の関わりについて考えました。南千住第二中で行われている地域学習やレスキュー部の活動が地域との絆を深め、地域の安全や発展につながっていることを再認識してこの日の授業を振り返りました。



### 3学年の授業のようす

3学年は、「生命倫理について考える」をテーマに、生命の尊さに気づき、かけがえのない生命を大切にすることを育む授業を行いました。自然界で命が生まれる奇跡について話を聞いた後、人工授精、顕微鏡授精、体外授精など医療に関わる生命の誕生について考えました。「命の誕生にどれだけ関わって良いのだろうか?」「命の選択はしてもよいのか?」「命の複製についてどう思うか?」「命の生産はしてもよいのか?」などの質問では、クラスで活発な意見交換が行われました。医療の進歩で、遺伝子操作やクローン技術が身近なものとなりつつある現在、生命倫理について真剣に向き合い、医療の力により生じる生命への関わりについて自分の意見をしっかりと持つことができた、大変重要な意義を持つ授業となりました。

PTAや評議員の皆さんとの協議会は感染症拡大防止のため今回実施されませんでした。その後の評議員委員会では、それぞれの学年の道徳学習への取り組みに高い評価をいただきました。ご来校の皆さま、ありがとうございました。

## 選挙活動はじまる!

今年度生徒会役員選挙の立候補が9月6日(火)に締め切られ、生徒会長に1名(定数1)、2年生本部役員に4名(定数3)、1年生本部役員に5名(定数3)が立候補しました。9月12日(月)からはじまった選挙活動では、2階職員室の横に立候補者の名前が入った垂れ幕が下がり、玄関と2階北階段踊り場には、顔写真とスローガン、公約入りのポスターが貼られています。また、朝の登校時間には、たすきを掛けた立候補者と推薦人による挨拶活動もはじまっています。9月26日(月)からの3日間には、給食の時間に、立候補者と推薦人のあいさつが放送される予定で、一気に選挙に向けて熱気に包まれてきました。南千住二中学生の生徒会活動へ寄せる期待がうかがえます。生徒会役員選挙は30日(金)の1時間目に放送による立会演説会が行われ、その後、荒川区の選挙管理委員会からお借りした実際の投票箱を使い、本番の投票と同様に一人ひとりが投票券をもって1票を投じます。当日開票で、翌日には当選者の公示が行われる予定です。

立候補者と推薦人による朝のあいさつ運動のようす

## 校内美化活動

2学期に入り、廊下やホール、階段が美しく光り輝いていることに気づいた人も多いと思います。私たちが夏休みの間に、主事さんが床をワックス掛けで磨きあげてくださったのです。暑い中、古いワックスの被膜をはがし汚れを落として、再度丁寧にワックスをかけるという大変時間と手間のかかる作業をしてくださいました。主事の皆さん、本当にありがとうございました。

そして、左側の写真は環境委員会前期委員長の〇〇〇〇さん(3-3)が水道まわりや流し台の掃除をしている様子です。蛇口や流しの角の隅々までしっかりと洗っています。環境委員会では、皆さんが心地よく校内を利用できるように、週に一度各階のホールや教室の黒板などの清掃を行っています。皆さん、これからも校内を綺麗に大切に使いましょう。

